

第76回定期演奏会 KOMAKIシリーズ1

ドヴォルザークと
ルロイ・アンダーソンの
愛しのアメリカ

ピアノ:
岡田 奏
Kana Okada, Piano
© Kazuhito Nakamura

指揮:
飯森 範親
(中部フィル首席客演指揮者)
Norichika Imori, Conductor
© 山岸 伸

ルロイ・アンダーソン
Leroy Anderson
Chicken Reel / The Syncopated Clock
チキン・リール / シンコペイテッド・クロック

ブルー・タンゴ / 舞踏会の美女
Blue Tango / Belle of the Ball: Waltz

ピアノ協奏曲 ハ長調 (ピアノ:岡田 奏)
Piano Concerto in C major

ドヴォルザーク
Antonín Dvořák

交響曲第9番 ホ短調 作品95 「新世界より」
Symphony No. 9 in e minor Op. 95 "From the New World"

指揮は首席客演指揮者の飯森範親。飯森の指揮で「アメリカ」を取り上げます。軽やかで楽しい小品をたくさん書いたアメリカの作曲家ルロイ・アンダーソンを取り上げ、クラシック音楽の普及に尽くした真価を問います。プログラムは軽快な小品4曲と珍しいピアノ協奏曲を聴きます。ピアノ協奏曲はアメリカンテイストに溢れた情感豊かな名品。華やかな姿と華麗な音楽性を持つピアニスト岡田奏さんの演奏に期待が高まります。メインプロはチェコの作曲家ドヴォルザークがアメリカ時代に書き、日本人がこよなく愛する交響曲第9番「新世界より」です。飯森が中部フィルからドラマティックにアメリカンサウンドを響かせます。

2021 9.26 [日] 15:00開演(14:00開場) 小牧市市民会館

プラチナ席:¥5,500 S席:¥4,500 A席:¥3,500 B席:¥2,500 学生席 ※25歳以下(当日窓口のみ販売):¥1,000 [全席指定]

【アートフレンド割引料金】プラチナ席:¥5,000 S席:¥4,000 A席:¥3,000 B席:¥2,000 [全席指定] ※市民会館・各市民センター・まなび創造館のみで取扱い

チケットお取扱い・お問合せ

■中部フィルハーモニー交響楽団 0568-43-4333 info@chubu-phil.com www.chubu-phil.com

休日:日曜・月曜・祝日(公演の都合上、臨時休業する場合がございます)

その他のチケットお取扱い

■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:191-874] ■小牧市市民会館 ■小牧市内各市民センター ■まなび創造館

※車イス席あり。詳しくは中部フィル事務局までお問合せください。 ※施設により休館日および販売時間が異なりますのでご注意ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※曲目・出演者・曲順等の変更の場合があります。あらかじめご了承ください。

主催:認定NPO法人 中部フィルハーモニー交響楽団

共催:一般財団法人 こまき市民文化財団

協賛: 宗次ホール 後援: 中日新聞社

中部フィルオンライン
チケットサイト



Komaki

一般発売 6/23(水)
中部フィルサポーター・フレンズ先行予約
6/9(水)~6/16(水)
小牧市関連施設は発売日のみ9:30~

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

中部フィルハーモニー交響楽団 第76回定期演奏会 KOMAKIシリーズ1

CHUBU PHILHARMONIC ORCHESTRA

Profile

飯森 範親(指揮)

Norichika Imori, Conductor



桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年、東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは正指揮者として密接な関係を続け、現在は特別客演指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。06年の日本ツアーを成功に導き、2017年5月にはミュンヘンのヘルクレスザールを始めドイツ国内のツアーにて指揮。同年9月にはポーランドのオルシティン・フィルのシーズン開幕を指揮し成功を収めている。

東京交響楽団特別客演指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。07年から山形交響楽団の音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げたことで2011年齋藤茂吉文化賞を受賞。

2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2021年4月より東京ニューシティ管弦楽団ミュージック・アドバイザー(次期音楽監督)に就任。

2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

岡田 奏(ピアノ)

Kana Okada, Piano



函館市生まれ。15歳で渡仏。パリ国立高等音楽院のピアノ科と室内楽科を最優秀で卒業、修士課程を最優秀で修了し、第3課程アーティスト・ディプロマ科を経て、ヨーロッパと日本を拠点に活動している。8歳でリサイタル・デビューを果たし、12歳で開催したショパンのエチュード全曲演奏会や、NHK-FM「名曲リサイタル」は絶賛された。これまでに、日本、フランス、ドイツ、イタリア、モロッコ、ポーランド、スペインの各地でリサイタルを開催し、フランスとベルギーではフランク・ブラレイと共演している。これまでに、ベルギー国立管弦楽団、シモン・ポリバル交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団等のオーケストラと、マティアス・パーメルト、セバスティアン・ヴァイグレ、マリノ・オールソップ、ポール・メイエ、ヘルムート・ライヒェル・シルヴァ、クリスティーナ・ポスカ、小林研一郎、尾高忠明、広上淳一、山田和樹、山下一史、大友直人、大井剛史、円光寺雅彦、西本智実、三ツ橋敬子、田中祐子、粟辻聡等の指揮者と共演している。音楽祭への出演も多く、アンヌ・ケフェレックが芸術監督を務めるサントンジュ・ピアノ・フェスティバルのほか、ラ・フォル・ジュルネTOKYO、パリのショパン・フェスティバル、アムステルダム国際音楽祭、コマンジュ・フェスティバル、エガリエール・ミュージック・フェスティバル、エルヌ・ピアノフォルティッシモ、韓国のピース&ピアノ・フェスティバル等、いずれも好評を博す。また、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」および「きらくら!」、「名曲アルバム」をはじめメディアへの出演も多数行っている。2018年、デビュー・アルバムとなる『Souvenirs—フランス作品集』をトリートン・レーベルよりリリース、好評を得ている。多数のコンクール歴を持ち、2013年第8回アールランク国際ピアノ・コンクール第1位、2013年第12回ピアノ・キャンパス国際コンクール第1位を獲得したほか、2016年エリザベト王妃国際音楽コンクールのファイナリストとなり話題を呼ぶ。ピアノを加茂和子、植田克己、上田晴子、ジョルジュ・ブルーデルマッハー、フランク・ブラレイ等に、室内楽をクレール・テゼール、イタマル・ゴラン、ブルーノ・パスキエ等に師事。文化庁新進芸術家海外研修制度研修生、ローマ・ミュージック・ファンデーション奨学生、フランス・バンクポピュレール財団奨学生として研鑽を積んだ。一般財団法人地域創造による公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)2020・2021年度登録アーティスト。

2021 SEASON KOMAKI SERIES



中部フィルハーモニー交響楽団

Chubu Philharmonic Orchestra

中部フィルハーモニー交響楽団は、2000年に愛知県小牧市で小牧市交響楽団として発足した。その後、2005年の愛知万博に出演するなどの活動を経て、2007年に広く中部地域の音楽文化に貢献するため「中部フィルハーモニー交響楽団」と改名した。その2007年からは演奏域を広げ、愛知県小牧市以外の愛知県名古屋市、愛知県犬山市、三重県松阪市、岐阜県岐阜市で新たに定期演奏会や定期的なコンサートを毎年開催し、2017年にはそれらの演奏会が10年目となり通算10回を数え、各地域の音楽文化振興に貢献してきた。2015年には創立15周年となり、またアーティストックディレクターの秋山和慶が指揮生活50周年を迎えたことから、これを記念してマーラーの交響曲第2番「復活」を愛知県芸術文化センター・コンサートホールで満員の聴衆のもと開催し、その演奏は高い評価を得た。2017年度からは秋山和慶が新たに芸術監督となると共に、名古屋定期演奏会の回数を増やし「ブラームス・ツィクルス」を2年間4回でスタートし、誠実かつ熱のこもった演奏を行い、好評を博した。その時のライブ演奏は「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」で世界配信されている。なお2021年度からは6回の定期演奏会をNAGOYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ3回とし名古屋と小牧に一層軸足を置くと共に、特別演奏会を小牧市1回、他、岐阜市、松阪市で開催し、引き続き中部圏各地域での音楽文化振興に寄与していく。定期演奏会では1人の作曲家にフォーカスしたプログラムも注目されている。また2018年10月には名古屋フィルハーモニー交響楽団第461回定期演奏会にてマーラー作曲「千人の交響曲」に出演し、名フィルとともに見事な演奏を聴かせた。

受賞歴としては愛知県芸術文化選奨新人賞等を受賞。2017年12月に「多年にわたり地方自治の発展に尽力したその功績は誠に大である」として愛知県知事より感謝状を授与された。

2020年4月から首席客演指揮者に飯森範親を迎え、さらなる飛躍を目指す。本拠地は愛知県小牧市。

アクセス ACCESS

小牧市市民会館

〒485-0041 小牧市小牧2-107
TEL. 0568-77-8205
休館日：毎週月曜日、年末年始(12/29~1/3)

電車でお越しの場合

●名鉄小牧駅下車 徒歩10分

●名古屋から名鉄都市間高速バス桃花台線 小牧駅停留所下車 徒歩10分

●春日井から名鉄バス小牧行 小牧駅停留所下車 徒歩10分

●小牧市内から小牧巡回バス 市民会館前停留所下車 徒歩1分
市民会館南停留所下車 徒歩10分

※駐車場収容台数、約400台。可能な限り公共交通機関、または乗り合わせでお越しください。
※満車の場合は小牧駅周辺の市営駐車場(有料)をご利用ください。

バスでお越しの場合

次回演奏会のご案内

第77回定期演奏会(NAGOYAシリーズ3)
“秋山のベートーヴェン・ツィクルス3”

2021年10月24日[日] 三井住友海上
開演15:00(開場14:00) しらかわホール

指揮：秋山和慶 ヴァイオリン：郷古廉

●ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61

●ベートーヴェン：交響曲第6番 へ長調 作品68「田園」

一般発売 7/28(水) 中部フィルサポーター・フレンズ先行予約：7/14(水)~7/20(火)